

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2021年12月15日

保護者アンケート回収率84.38%  
保護者の評価欄は回収分で占める割合です。

事業所名: 児童デイサービス すまいる・きずく松陽

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員は、10名です。療育室では、活動内容に応じてグループ分けし、少人数で取り組むようにしています。また、おやつ時は、壁に向かってように席を設け、衝立を利用して距離を取り、黙食するように指導しています。	はい…77% どちらともいえない…4% いいえ…4% わからない…15% ・タオル体操の時狭く感じるとのこと。人が多いので端をキープしていると話している。 ・コロナの流行で密になってしまうことが心配です。	・感染症対策を行い、距離感を保ちながら活動出来るように取り組んでいます。 ・子ども達の成長に伴い、事業所内のレイアウトの再検討(学習室の有効活用等)が次年度の課題となっています。
	2 職員の適切な配置	基準に基づいた人員配置を行っています。ミーティング時に利用児童の状況の確認を行い担当を決め、安全に過ごせるように対応するようにしています。	はい…78% わからない…22%	全職員で子ども達の状態を把握出来るように声を掛け合い確認していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所の設置環境上、3階までの往復については、訓練の一環であったり、ルールやマナーを学ぶ場面の一部としてとらえて子ども達の行動を促しています。情報伝達については、視覚的支援等を取り入れながら児童の状況に合わせて対応策を模索しながら取り組んでいます。	はい…74% どちらともいえない…15% わからない…11% ・3階にある為、不便さを感じる。 ・伝達はよくなって下さっている。	3階までの送迎等での不便さについては、児童やご家族の状況に応じて対応させて頂いています。子ども達の安全に配慮しながら利用しやすい環境づくりに継続して取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	事業所内の物品整理を行い、衛生的に管理しやすい工夫や業務マニュアルを活用しながら漏れのないように取り組んでいます。また、来所時の手洗いやおやつ後の片づけ等についても児童と共にしながら衛生習慣が身に着くように促しています。	はい…89% どちらともいえない…4% わからない…7%	今後も引き続き、環境整備や感染症対策心がけ、清潔で心地よい生活空間の確保に努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のミーティング、振り返り、毎月のスタッフ会議等を通して業務の見直し、改善を行っています。いつでも全職員が喋りやすい環境づくりに心がけています。		ひとりひとりの職員に役割分担し、業務改善を行いながら会議の充実にも努め、職員間で積極的な意見が出るような環境づくりに努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価や県の実地指導を受け、指導していただいたことを基に日々の業務改善を行っています。		今後も第三者評価を受けながら業務改善に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の事業所内研修に加え、インターネットを活用した研修にも積極的に参加しています。今年度は、強度行動障害養成研修をオンラインで受講しました。		計画的に事業所内研修を行っていきます。また、外部での研修の情報収集しながら、積極的に職員が研修に参加できるような勤務体制を整えるようにしていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時には、アセスメントを行い、モニタリングを繰り返しながら、保護者と児童のニーズを確認し、日々の支援の中から見えてきた課題を分析しながら放課後等デイサービス計画の作成を行っていきます。		今後もアセスメントとモニタリングを行い、保護者と児童のニーズを確認しながら、日々の支援の中から見えてきた課題を支援者で分析し、放課後等デイサービス計画の作成をしていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの様子を観察し、本人や保護者の思いを受け止めながら、活動場面を展開していきます。	はい…100%	今後も子ども達の成長や様子を考慮しながら活動を展開していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達支援・家族支援・地域連携など大項目を決め、それぞれに具体的な目標を設定し、支援内容や留意項目・支援機関などを記載していきます。		今後も継続して行っています。
適切な支援の提供	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	ミーティング時に利用児童の支援内容を確認し、振り返りでその日の児童の様子を報告。次回利用日の対応に備える。	はい…89% わからない…11%	今後も普段のミーティングを充実させて子ども達の様子を観察・分析しながら関わり、適切な支援に繋がっていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ会議を通して事前に担当を決め、計画を立案していきます。具体的な取り組みについては、日々のミーティングを通して行っています。		年間計画に合わせて、担当者を決めスタッフ会議などで準備を行いながら意見を出し合い計画していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・休日・長期休暇では、サービス提供時間が異なります。児童の目標に合わせてながら、平日の時間では経験出来ないことに積極的に取り組むようにしています。天候が良い時には、戸外での活動や近隣の社会資源を利用することや事業所内でも皆で準備段階から児童と共に取り組むようにしています。		感染症対策を行いながら、事業所内外での活動を計画し、児童の生活の中で経験値の向上につなげていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じことを繰り返さずことで見えてくる子ども達の成長の部分と年齢に応じた活動の展開を考えています。	はい…92% どちらともいえない…4% わからない…4% 夏祭り等行事、買い物、見学等 工作も楽しんでいる	子ども達の意見を取り入れながら、社会資源を活動して社会の一員として力を身に着けるような活動を展開できるようにしていきます。
8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始までに職員全体でミーティングを行っています。活動ごとの取り組み内容や担当の確認、児童に対する関わり方の注意点など最近の利用状況を確認しながら支援リーダーを中心に進めています。		今後も継続して行なっていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
続き)	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化		今後も継続して行っていきます。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施		さまざまな場面で子ども達の様子を観察し、気付いたことを話し合えるような職員関係が保てるようにしていきます。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		今後も継続して放課後等デイサービス計画の見直しを定期的に行っていきます。また、期間内でも児童の状況の変化などによって支援内容の変更が必要な場合には随時見直しをしていきます。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画		今後も継続して、サービス担当者会議には参加し、児童、保護者の状況を把握し、学校や相談専門員・関連事業所などと連携をしながら統一した支援が出来るようにしていきます。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供		ニーズに応じて積極的に対応していきます。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		継続して自立支援協議会への参加し関連機関との連携を取り、研修情報の取集と職員への情報提供に努めます。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状では、交流する機会はありません。近隣での買い物や散歩の機会には、積極的に挨拶をするなど公共のルールを伝えていきます。	はい…44% どちらともいえない…11% いいえ…4% わからない…41%	今後は保護者や児童のニーズを確認しながら検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度はコロナ禍の為、地域との交流が少なくなっていますが、ハロウィンでは、事業所のあるビル内の店舗を周り、おやつをもらいました。また、ユアアイ帆つとセンターに事業所で作った壁面制作の展示や自立支援協議会主催行事などに参加・啓発など積極的に地域との交流できるような働きかけをしています。		地域に開かれた事業所となるように積極的に地域行事等に参加できるようにしていきます。
保護者への	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明		はい…93% どちらともいえない…7%	今後も継続して丁寧な対応を行っていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		はい…100%	今後も継続して丁寧な対応を行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	日ごろの連絡帳や送迎時、または、面談に保護者の子育ての悩み事など困りごとを整理しながら関わり方を共に考えていくようにしています。事業所での関わり方を伝えながら助言させていきます。	はい…78% どちらともいえない…2% わからない…4%	今後も継続して実施していきます。また、学習会も計画し、保護者も職員も共にスキルアップし児童を支える力が身につくようにしていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳を通して家庭や学校での様子を把握し、事業所での関わり方や様子を伝え共通理解できるように努めています。また、緊急時には、電話連絡での対応しています。	はい…89% どちらともいえない…11%	今後も継続して保護者と共通理解できるように取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
説明責任・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳、面談の機会に実施しています。相談事項など保護者からの情報を全職員で共有できるように振り返り時に報告し、適切な対応を相談しています。また、必要に応じて学校や相談支援専門員、関連事業所と連携し対応できるようにしています。	はい…89% どちらともいえない…11% わからない…11% 白紙…4%	今後も保護者の思いに寄り添い丁寧な対応に努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は、7月に保護者会兼学習会(保護者向け)を行いました。また、2月には、第2回目の学習会(保護者向け)を計画中です。	はい…63% どちらともいえない…22% わからない…11% 白紙…4% ・参加せず ・コロナ禍にある状況の中では、困難であると思います。	今後は新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら、保護者同士の連携が深められるよう、開催方法を模索し支援していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルを作り対応。職員研修を行い、職員にも周知し、迅速かつ適切な対応に努めています。	はい…74% どちらともいえない…11% わからない…11% 白紙…4%	今後も対応体制を整備し、契約時だけでなく保護者会等で周知出来るようにしていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉での支援に加え、視覚的支援等を使い具体的に伝え、共に行動し同じ体験をしながら意思の疎通を行い情報伝達に繋がっています。保護者については、送迎時の会話や連絡帳、電話でのやり取りなどを通して情報伝達を行っています。	はい…89% どちらともいえない…4% わからない…11%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的にはICT化も視野に入れ検討していきます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のお便りで写真を載せながら活動の様子や行事予定等お知らせしています。	はい…96% どちらともいえない…4%	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的にはICT化も視野に入れ検討していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に重要事項説明書の中で確認しています。また、個別支援計画の中にも記載し、確認を行っています。職員にも周知しています。	はい…89% わからない…11%	今後も個人情報の取り扱いには、十分に配慮し対応していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員研修を持ちながら周知を行っています。保護者に対しては、契約時、保護者会の際に子どもの安心・安全マニュアルを配布し確認出来るようにしています。	はい…92% どちらともいえない…4% わからない…4%	今後も継続して周知徹底に取り組んでいきます。また、社会情勢に応じ都度マニュアルを見直し、周知出来るよう取り組んでいきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回避難訓練(火災時・地震時)を行っています。今年度は、管轄の消防署員さんに訓練に参加いただき指導を受けました。	はい…93% わからない…7%	今後も様々な災害に対応出来るよう、多様な災害を想定し訓練を実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	事業所内外での研修を積極的に行い、日々の振り返り等でも各職員の対応に関しても全職員で振り返りながら意見を出し合うようにしています。		今後も継続して虐待防止研修を実施・参加し、全職員で意識をもって適切な対応が出来るよう取り組んでいきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議等で事例を検討し、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に十分に説明をし了承を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載するようにしています。		今後も身体拘束の必要性を慎重にケース会議で検討・見直しを行いながら丁寧に取り組んでいきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時のアセスメントで状況を把握し、医師とは保護者を通じて指導していただけるような対応をとっています。		今後も保護者と情報共有しながら、個別の緊急対応マニュアルを更新するなど、安心して通所できるよう対応していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	日々の振り返りの中からヒヤリハット事例の報告を確認した場合は、職員全体で状況の把握と分析を行い、改善策を考えるようにしています。その都度事例集にまとめ、社内研修を行い日々の支援に繋がっています。		今後も安心安全に通所できるよう、ヒヤリハット集を更新し取り組んでいきます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	事業所の活動を通して、自分の気持ちを素直に表現出来る、相手の気持ちに気づけるなどコミュニケーションスキルの向上を目標に日々の活動を展開しています。苦手なことや気持ちが向かないことも気持ちに折り合いを付けながら頑張ることで自信や達成感に繋がっています。	はい…89% どちらともいえない…4% いいえ…4% ◎…1% ・工作をやりたくない時もある。 ・タオル体操が毎回ある。スカートがはけない	自分の気持ちを素直に話せるように寄り添う姿勢を保ちながら、集団生活でお互いを認め合い、助け合えるよう取り組んでいきます。
	2 事業所の支援に満足しているか	毎日のミーティングや振り返りを通して児童の様子を職員同士で意見を出し合い観察・分析しながら統一した支援が行えるように努めています。また、保護者との上表共有も連絡帳を利用し行うようにしています。	はい…89% どちらともいえない…4% わからない…4% ◎…1% ・コロナで行くことが減り、わからないに○を全体的につけています。	今後も職員同士が活発に情報交換を行い、より良い支援策を追求し、統一した支援を継続していきます。また、保護者との情報共有にも努めていきます。